

大門福祉会だより

大好き だいきん

題字 長崎 信一様 (なの花通り入居者)

第33号 令和3年4月

〔編集・発行〕社会福祉法人 大門福祉会 広報委員会 富山県射水市中村20 ☎(0766)52-6700 FAX(0766)52-6800



水戸田保育園
卒園式
令和3年3月20日(出)



おめでとう
ございます

大門福祉会
令和3年度
新任職員



新年度のご挨拶



松長 勝弘

社会福祉法人 大門福祉会
こぶし園施設長

記録的な大雪が降った冬も過ぎ、こぶしの花が咲く季節を迎えました。

日頃から特別養護老人ホームこぶし園に對しまして、多大なるご支援とご協力を賜り、厚くお礼申し上げます。

さて、昨年度は新型コロナウイルス感染症の感染拡大が、社会や経済、私たちの暮らしに大きな影響を及ぼしました。このウイルスに高齢の方が感染した場合には、重度化する危険性が高いことから、当園でも消毒やマスクの着用、職員の健康管理など、様々な感染予防対策の徹底に努めています。また、感染状況に応じて面会制限を設け、各種ボランティアの皆様にご参加いただく諸行事を中止するなど、外部の方との接触による感染を防ぐ取り組みも継続しています。入所者や利用者家族の皆様には、長期にわたりご不便をおかけしており、大変に心苦しく思っています。現在、医療従事者に続き高齢者を対象にしたワクチン接種の準備が進んでいます。一日も早く感染の拡大が収束に向かい、穏やかな日常に戻ることを願うばかりです。

こうした状況下にあります。引き続き地域の高齢者福祉の拠点として使命を果たすべく、サービスの改善や質の向上に努めてまいります。関係の皆様には、更なるご理解とご協力を賜りますようお願い申し上げます。

節分



節分の日、突然3体の鬼がひいらぎの杜に現れました。入居者様はなぜか大喜び！「鬼は外、福は内」と言うのも忘れ、入居者様はカラーボールを何個も鬼めがけて投げました。たまに鬼の反撃を受けながらも、負けずに「コロナ退散、鬼は外！」の思いでボールを投げて鬼退治。楽しい時間となりました。

ひな祭り



2月中旬、外にはまだ雪の残る中、各ユニットから女性入居者様が集まり、お雛様を出しました。ほんほりや桃の花、梅の花はもちろん、お内裏様とお雛様、三人官女に五人ばやしとそれぞれのお人形さまに小道具をつけ、順に飾りました。「これは誰の？」

「これであつとるけ？」と、隣の方と確認しながらどんどん出来上がりしました。

3月3日にはひな祭り喫茶として、特別メニューの「甘酒」が準備され、注文された方は、「美味しい♡」となつかしい味に舌鼓を打っておられました。

毎日の体操風景



実習生受入れ



2月15日(月)～
3月3日(水)

め組の火消し

●令和3年1月25日(月)～1月27日(水)



デイサービスに、また新たなレクリエーションが登場しました。2人1組となり、床の上の炎の絵を新聞玉で隠していくゲーム「め組の火消し」です。チーム対抗で、いかに早く「炎を隠す」「火消し」を完了するかを競います。初めてのゲームに戸惑われるかと思いきや、ゲーム説明を聞きながら既に両手には新聞玉を掴んでやる気いっぱいの利用者様。大きな炎が見える見るうちに隠れていきますが、職員の判定は厳しく、少しでも炎が見えていると消火とは認められません。そのため、最後まで真剣に火を消す利用者様の姿はまさにめ組の火消しでした。

百歳のお祝い

●令和3年2月12日(金)



2月に百歳を迎えられる利用者様のお祝いをデイサービスで行いました。感染予防のため、慰問の方の出し物やご家族の招待ができない分、職員で出し物を準備し、当日ご利用の皆様と共にお祝いをさせていただきます。楽しく踊りでお祝いし、「花は咲く」の合唱と合わせて、職員一人一人から手作りの花をプレゼントさせていただきました。恥ずかしいと言っておられました。周りの利用者様から次々と「おめでとー」の声をかけられ、記念の写真と手作りの花束を手にして涙ぐまれる姿を見て、私たち職員も胸いっぱいになりました。



6月

- ☆数字かるた
- ☆火中の栗拾い

5月

- ☆星飛ばそう!
- ☆ウナギ釣り名人

4月

- ☆タワー作り
- ☆ナンバーストライク

地域貢献事業

大雪対策



1月上旬、富山県内は記録的な大雪に見舞われ、各地で交通渋滞が起きたり、食料品や生活用品が店舗に届かなかつたりと、生活に大きな支障が生じました。特に、ひとり暮らし高齢者は、除雪ができないため外出もできず、結果、孤立状態になつた方も多く見受けられました。

そこで、地域包括支援センター・大門在宅介護支援センターでは、ひとり暮らし・高齢者夫婦・障害者の方などの要支援世帯に対し、複数職員でチームを組み、次の対応をいたしました。

- ① 安否、健康状態の確認
 - ② 食糧の有無、生活上の困りごとの確認
 - ③ 被害状況の確認と除雪支援活動(生活経路やサービス事業所車両が駐車できるスペース確保)
- ※除雪は18世帯に計24回実施

訪問先では、皆さん不安な中を過ごしておられたことがうかがえ、電話や訪問、除雪支援などによって、随分と安心された様子でした。「ありがとー」「本当に助かった」と感謝の言葉をたくさん頂きました。

地域で安心して暮らしていただくには、迅速な対応と、サービスを途切れさせず提供するための工夫とチームワークが、いかに大切であるかを実感しました。今回の活動を今後にも活かしていきたいと思えます。

・新型コロナウイルスの影響で、おうち時間が増え、休日に料理をするようになりました。最初の頃はよく失敗して、今でもフライパンの底には餃子の跡が付いています(笑)。最近は以前より失敗しなくなり、先日は鱈のフライを作り成功しました！家族も美味しいと喜んでくれています。



・ソーシャルディスタンスを保ちながらのゴルフ練習。大きな声で「ナイスショット!!」とは言えないから、拍手の「パチパチ」をもらい、笑顔になれる自分があります。

・家族で過ごす時間が増え、キャンプへ行ったりと外で遊ぶことが増えました。また、子供と一緒に料理やお菓子を作る様にもなりました。



わたしの
with コロナ /
職員の一言



・おうち時間に様々なジャンルの音楽を聴いて過ごしています。その中で、韓国語に興味を持ち勉強を始めました。韓国ドラマを観たり、音楽を聴いたりするのが私の楽しみ方です。

・自宅近くに万葉線電車の線路があり、散歩がてら子供と一緒に線路付近へ行きました。電車に向かってバイバイと手を振ると、電車の運転手さんも汽笛を鳴らして手を振り返してくれ、楽しかったです♪

・外出を控えるため、家にいる時間を活用して、食生活アドバイザーの資格を取ろうと思いを勉強。昨年11月の試験に合格しました。また、アロマオイルでバスソルトを作って、入浴を楽しんでいます。



新年度のご挨拶



社会福祉法人 大門福祉会
水戸田保育園 園長
清水 美好

春風がとても気持ちの良い日々となりました。昨年度、コロナウイルス感染症という誰もが経験したことのない感染症の蔓延で、子どもを取り巻く環境は、大きく変わりました。見通しの立たない状況に保育現場は様々な面で苦慮してきました。このような状況において、私たち保育者も、できないという事より、どのようにしていくかを大切にしたい1年でした。今まで、たくさん大人の手を借りて行ってきた行事も、年長児が先頭に立ち、行っていくことで、自分たちで作りに上げる達成感や、協力する大切さを学び、一人一人が大きく成長しました。様々な環境が変わる中、保育者や子どもたちにも大きな変化がありました。

近年、保育園に求められていることは多種多様になってきました。今、私たちに何ができるのかと考えたとき変わらない笑顔で子どもたちを迎え、制限される中でも、大人が「できない」と決めつけず、感染症対策に気をつけながらどうやればいいのかを考え、サポートしていくことではないでしょうか。

このような状況だからこそ、子どもと保護者に寄り添い、目の前にいる子どもたちの最善の利益を考え成長の糧となるべく頑張っていかなければならないと思います。

日頃より、保育園の運営にご協力くださる皆様にご感謝申し上げますと同時に今後とも皆様のより一層のご支援を賜りますようよろしくお願い致します。

ひなまつり茶会 (緑組)
2月26日(金)



また、ひなまつり茶会を通して、日本の文化に触れることができま



その集大成として、保護者の方をお招きし、ひなまつり茶会を行いました。緊張しながらも真剣な顔つきに、子どもたちの大きな成長を感じました。

1年間、茶道教室で子どもたちは稲垣先生から、美しい姿勢、歩き方、座り方、お菓子やお茶の頂き方など丁寧に指導を頂きました。

節分会
2月3日(水)



節分会では、節分について話を聞いたり、考えたりとみんな楽しんで参加しました。今年は段ボールパネルの鬼が登場。赤鬼、青鬼、緑鬼のパネルに新聞ボールを投げ、子どもたち一人一人が心の中にいる鬼(泣き虫鬼、怒りん坊鬼、食いしん坊鬼)を退治しました。

会の終わりには福の神が花びらをまき、一足早い春を運んでくれました。

行事予定



- ※毎月の行事
- 誕生会
 - 防災訓練
 - 防犯訓練
 - 交通安全指導
 - 発育測定

- 4月1日(木) ● 進級式
- 6日(火) ● 入園式
- 9日(金) ● お祝いの会
- 28日(水) ● 子どもの日の集い
- 5月20日(水) ● サッカー教室
- 6月2日(水) ● 春の遠足
- 8日(火) ● 茶道教室
- 17日(木) ● サッカー教室
- 24日(木) ● 幼年消防クラブの集い
- 25日(金) ● 七夕飾りつけ

一時保育のご案内

こんな時に、ご利用ください。



- 仕事の都合・引越し・看護・リフレッシュ
 - 免許、資格の取得・通院や治療
 - 冠婚葬祭・地域の行事参加 など
- 利用できる年齢

● 生後2か月〜就学前までの他の施設に在籍していないお子さん

※ご利用の前日まで、電話でお申し込みください。(054-13311)

あたたかいご芳志ありがとうございます

R3.1.1～R3.3.31

(敬称は略させていただきます)

〔寄附金〕

廣田 一也 金一封

〔寄附物品〕

米田 理江 車椅子、クッション
杉岡 洋子 書籍
かわぐち建築工房
書類置き用デスク

〔定例ボランティア〕

大門理容組合こぶし園理容グループ
理髪(料金割引奉仕)
大門美容組合 美容(料金割引奉仕)
浄土真宗本願寺派高岡教区教務所
法話会
福田 保一 書道クラブ(講師)
木村加代子 手芸クラブ(講師)

田畑 一美 華道クラブ(講師)
篠原 淳子 音楽クラブ(講師)
稲垣 征子 茶道教室(保育園)
道古 正子 よさこい(保育園)
広田 徹 囲碁教室(保育園)
(公社)
富山県サッカー協会キッズ委員会
サッカー教室(保育園)

*ボランティアの皆様にはご協力を賜り誠にありがとうございます。今後とも、ご協力くださいますよう、よろしくお願い申し上げます。



今回の題字を書いて下さったのは、はにかんだ笑顔が素敵で長崎様です。書道セットを持ってお願いに行くと、「はいはい」と言ってお手紙を差し込んで下さりました。いつも穏やかで優しい長崎様は、職員とすれ違う時や目が合った時は必ずお辞儀をして挨拶を下さいます。また、職員と一緒に毎日体操をし、活動的に過ごしておられます。これからも様々な活動を一緒に楽しみたいと思っています。

● なの花通り入居者
長崎 信一様 (89歳)

題字紹介



こぶし園利用状況 (R2.4.1～R3.3.31)			
R3.3.31 までこの庭	入居者数	49人 (男9人、女40人)	R3.3.31 ひいらぎの杜
	平均年齢	86.8歳	
	面会者数	635人	
ボランティア数	203人	デイサービス利用者数	9,705人
ショートステイ利用者数	4,050人		
ホームヘルプサービス派遣回数	8,457回 (要介護7,381回 第1号訪問事業1,076回)		
支援センター支援担当件数	1,659件		
地域包括支援センター相談件数	2,885件 (電話 1,696件 来所 415件 訪問 774件)		

水戸田保育園 在籍人数 (R3.3.31付)	
0歳児	11名
1歳児	21名
2歳児	18名
3歳児	25名
4歳児	29名
5歳児	24名
合計	128名

一時保育利用人数状況 (R3.1.1～3.31)	
1月	8名
2月	21名
3月	34名

編集後記

新型コロナウイルスとの闘いが始まって1年が経過。暗く沈んだ世界に“ワクチン”という光が射し、日本でも順次接種が始まりました。早く元の生活へと、希望の光への期待が高まるなか、この時期を過ごしてこそ見つけたものや気付いたことがあったかと思えます。そんな今こそ、新しい自分、新しい生活にチェンジするときかもしれませんね。今回、「わたしの with コロナ」と題したコーナーを新設しました。楽しんでご覧ください。

